

オリンピック・パラリンピック教育について

(1) 概要

市立学校 171 校が大会組織委員会から「オリパラ教育実施校」として認証を受けたほか、小学校において「東京 2020 大会マスコット投票」に取り組むなど、大会機運を高めております。

また、市立全小・中学校の授業におけるパラスポーツの実施や、パラリンピック関連の教材を使用した道徳等授業の実施など、多様性や国際理解の力を育むための教育を推進します。

(2) 2018（平成30）年度の主な取組み

○小・中学校の体育の授業でパラスポーツを実施（行動計画 P 39）【拡充】

子どもたちがよりスポーツを好きになり生涯にわたって運動に親しむ資質を向上させるとともに、スポーツの多様性について理解を深めるため、パラスポーツを小・中学校の体育の授業で実施します。

➤平成 29 年度

- ・オリパラ教育推進検討委員会を設置しました。(パラスポーツ実施に向けた指導方法等を検討)
- ・教員向け実技研修を実施しました。(ゴールボール、シッティングバレーボール)
- ・小・中学校各 7 校のモデル校で実施しました。
(ゴールボール、シッティングバレーボール、車いすバスケットボール等)

➤平成 30 年度

- ・市立全小・中学校で実施します。(ゴールボール、シッティングバレーボール等)
- ・実施するモデル校を拡大します。(車いすバスケットボール)

○オリンピック・パラリンピック学習読本等を活用した学習活動（行動計画 P 14）【拡充】

JOC から提供されたオリンピック・パラリンピック学習読本等を活用し、オリンピック・パラリンピックの意義や歴史を学ぶ授業を展開します。

- 平成 29 年度 研究指定校 3 校（都小、真砂東小、千城台南中）で実施しました。
- 平成 30 年度～ 市立全小・中学校で実施します。

○パラリンピック関連の教材を使った道徳等授業の展開（行動計画 P 44） 【拡充】

「千葉市に生きる」に、共生社会実現に向けた事例を入れたものを作成し、小学校の道徳等の授業で活用します。

- 平成 29 年度～ 小学校中学年で多様性理解のための道徳教材を作成・活用します。
- 平成 30 年度～ 小学校高学年で多様性理解のための道徳教材を作成・活用します。

○小・中学校における国際理解教育の推進（行動計画 P 4 4） 【拡充】

オリパラ英語教材を活用しながら、英語による千葉市の観光紹介等を授業で体験し、国際交流の知己知識を培います。

【中学校】

- 平成 29 年度 英語で千葉市を紹介する作品を、募集・表彰する
「Cool CHIBA Project ～千葉市紹介～」(中 2 対象)を実施しました。
- 平成 30 年度～ 作品を英語科で活用します。

【小学校】

- 平成 29 年度 オリパラ外国語活動教材(小学校高学年対象)を作成しました。
- 平成 30 年度～ 外国語活動で活用します。

○オリンピック・パラリンピック記念給食の提供（行動計画 P 1 4）

東京 2020 大会の開催に向けて、市内で開催される競技の発祥国の家庭料理を給食として提供します。

- 平成 29 年度 ギリシャの家庭料理を提供しました。
- 平成 30 年度 フランスの家庭料理を提供します。

○オリンピック・パラリンピック記念小学校陸上大会（行動計画 P 1 4）

小学校陸上大会にパラリンピアン等を招へいし、児童のオリンピック・パラリンピックに対する興味関心の高揚につなげます。

○パラスポーツの試合観戦事業（行動計画 P 4 0）

市内で開催されるパラスポーツの大会を児童・生徒が観戦し、迫力や魅力を肌で感じることで、障害への理解を深めるとともに、パラスポーツファンの拡大につなげます。

○公民館等におけるオリパラ関連講座の開催（行動計画 P 4 1）

東京 2020 大会の開催を見据え、パラスポーツ等に対する理解を深めるため、関連講座を各区で開催します。

○パラリンピアン等による学校訪問（行動計画 P 2 6）

小・中学校へパラリンピアン等が訪問し、講演や体験会を通して、競技や障害者への理解を深め、市内で開催されるパラスポーツ大会の観戦につなげます。また、市民等へ周知し見学してもらうことで、地域での関心を高めます。

- 平成 28 年度 20 校で実施しました。
- 平成 29 年度 51 校で実施しました。
- 平成 30 年度 50 校で実施します。(平成 31 年度までに市内小・中学校 168 校実施予定)